



あゆの風

こちんだ
沖縄県八重瀬町立東風平中学校
令和7年度 学校だより 第3号
発行：令和7(2025)年6月26日

～生徒の「よさ」を認め、発揮し、自己肯定感が育まれる東風平中学校～

戦後80年の節目を迎えて



校長日記！

今年は、戦後80年の節目を迎えた今、戦争を知らない世代が大多数になってきました。一方で、現在も世界のいたる所で、紛争や戦争が起きております。先日、本校では、沖縄大学の宮城教授を招聘し、平和教育に関するライブによる特設授業を行いました。講話を聞いて、戦争が遠い時代のこと、遠い場所のことと感じていた生徒にとっては、国際関係をとても身近な出来事として、受け止めたのではないかと思います。また、第二次世界大戦下、激しい地上戦が繰り広げられた沖縄戦にも触れ、6月23日は、1961年に沖縄の戦没者の霊を慰め、平和を祈る日として、「慰霊の日」に制定されたことも学び、平和とは当たり前にあるのではなく、自分たちが築いていくものであるという思いに近づく大きな一歩になったと思います

八重瀬町・戦没者追悼式

6月23日(月)慰霊の日に先立って、6月12日(木)に八重瀬町で戦没者追悼式(町慰霊祭)が、具志頭城址(魄粹之塔)前広場で行われました。学校側からは、私と生徒会長の仲村琉希さんが参列し、沖縄戦で亡くなられた町出身者約7千人の冥福を祈り黙とうをささげました。

戦没者7000人冥福祈る 八重瀬・魄粹之塔で追悼式

【八重瀬】八重瀬町は12日、具志頭城址公園内の魄粹之塔で戦没者追悼式を開いた。新垣安弘町長や遺族、町内の小中学生などが参列した。沖縄戦で亡くなった町出身者(旧東風平町、旧具志頭村)約7千人の冥福を祈って手を合わせ、恒久平和を



誓った。式典の冒頭、参列者は1分間の黙とうをささげた。町遺族連絡協議会の宮城博会長は「恒久

追悼式で手を合わせる参加者12日、八重瀬町具志頭



教頭先生のクリーン活動

学校では、毎朝、智功教頭先生が朝早くから出勤し、生徒達が安全安心に学校生活を送ることができるように校外外の危険物の確認やゴミ拾いをしてくださいています。特にゴミ拾いでは普段は目につかないような所にもゴミが落ちており、毎日のように行っているが、なかなか減らないのが現状です。しかもほぼ同じ場所にゴミが落ちているのがわかりです。特に多かったのが空き缶やペットボトル、お菓子の紙くずなどでした。東風平中学校がゴミ一つ落ちていない、きれいな学校にしていきたいですね。それには皆さんの力が必要です。ゴミを見つけたら拾う。またはゴミを出さないよう心がけることが大事です。



校内格闘技大会

昨日、生徒と交流を図ろうと、普段、目立つことのない地味な競技である剣道、柔道を主とした大会を開催しようと仲間大輔先生の企画のもと、中3を中心とした生徒がチャレンジャーとして集まり、初めての剣道、柔道を体験することができ先生対生徒の対決で一つの思い出づくりになったかと思ひます。次回、第2回大会もお楽しみに。